

Idees faites à la main de Paris

かわいい  パリのハンドメイド



あみもの

Premiers tricots

イルドガルド・ドゥーズ



Idees faites à la main de Paris
かわいい ■■■ パリのハンドメイド



あみもの *Premiers tricots*

イルドガルド・ドゥーゾ

Table des matières
もくじ

道具をそろえましょう	2	目をへらす、目をふやす	20
基本の動作～針と糸のもちかた	4	しあげ	22
最初の目の作りかた	5	かわいいリボン	26
作り目のあみかた	6	ふわふわハート	28
表目のあみかた	8	カラフルアクセサリー	30
裏目のあみかた	10	すてきなティータイム	34
目を止める（ふせ止め）	12	ふたつきポーチ	38
こんなときはどうするの？	13	マフラーいろいろ	42
いろいろなあみかた	14	リボンニット帽	46

Material 道具をそろえましょう

あみものの最初の一步はいがいにかんたん。

道具をそろえて、一度やりかたを覚えてしまえば、楽しくあめます。

「これ、私があんだの！」なんていえたら、すてきですね。

あみ針

この本では、棒針を使います。竹やプラスチックなどでできています。針の太さをしめす号数がついていて、数が大きいほど太くなります。毛糸の太さにあったあみ針を選ぶのがポイントです。最初は小物づくりからはじめましょう。5号から10号の針がぴったりです。

人にはそれぞれあみぐせがあります。自分のあみぐせがわかってきたら、やりやすいように針

毛糸

手あみに使う毛糸にはいろいろな種類があります。毛足が長くてふわふわした毛糸はあみ目がはっきり見えません。はじめは、あみ目が見えやすい、まっすぐな毛糸を選びましょう。コットン（木綿）やウール（羊毛）など自然素材の毛糸がおすすめです。

毛糸玉についているラベルには、あみものをするのに必要なことが書かれています。毛糸にあう針の号数、1玉のグラム数、糸の長さ、色番号とロット、洗濯のしかた、10センチ四方の正方形をあむのに必要な目数と段数の目安などです。ロットとは、糸を染めたとき使った釜のことで、同じ色番号でもロットがちがうと、色あいが少し変わってしまうことがあります。毛糸をたくさ

その他の道具

- 1 毛糸用とし針
糸端の始末をしたり、あみ地（あみあがって布状になったもの）をつなぎあわせるときに使います。
- 2 メジャー
糸の長さや、あんだもののサイズをはかるときに使います。
- 3 あみもの用まち針
あみ地をつなぎあわせるとき、あみ地をとめておくのに使います。
- 4 はさみ
- 5 ぬい針
- 6 ぬい糸
- 7 かぎ針
フリンジ → p.24 を作るときや、目を落としてしまったときに使います。
- 8 かざり
ボタン、フェルト、スタッズ、パールビーズ

何段あんだかを数える

道具（カウンター）もあるとべんりだよ！
1段あむごとにボタンを押すと、目もりがふえ、記録できるもの。手芸用品店で買えるよ。

もちろん、紙に「正」の字を書いて
段をかぞえてもOK！



Les bons gestes はり 基本の動作～針と糸のもちかた

まず毛糸と棒針を用意しましょう。大切なのは、右手の動きと、左手の動きをきちんと覚えること。

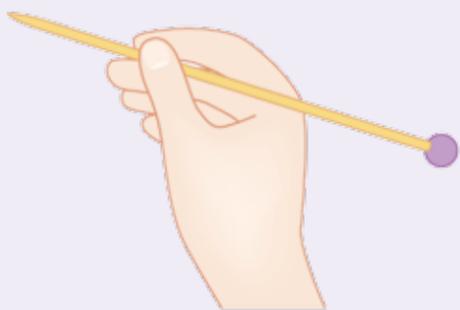
あとはちょっとぴりがまん強さがあれば大丈夫！

ゆっくり、しっかりあんでいきましょう。文章とイラストは右ききの人むけになっています。

左ききの方は説明文の「右」と「左」を入れかえて読んでください。

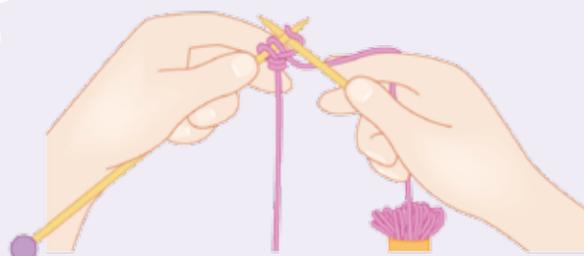
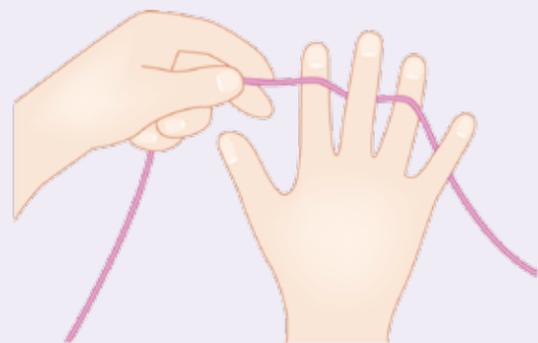
針のもちかた

右手も左手も、針はいつでも親指と人さし指の間にはさんでもちます。左手は針先の近くを、右は針先から少しはなれたところをもちます。ほかの指をかるくそえて針をささえます。



糸のもちかた

自分がいちばんやりやすい方法でOK。この本では、右手に毛糸をかけて送りだす方法を紹介していますが、左手にかけるやりかたもあります。途中で糸の動きが止まったり、針から外れないように気をつけながら、右の人さし指で毛糸を規則正しく送りだします。イラストはいちばんよく使われるやりかたをしめしています。



最初はこれだけ！
あとは自分があみやすいやりかたをさがっていこう。
ポイントは、肩や手に力を入れすぎないこと。
ふんわりしたきれいなあみ目にしあがり、手もいたくならないよ

Pour commencer 最初の目の作りかた

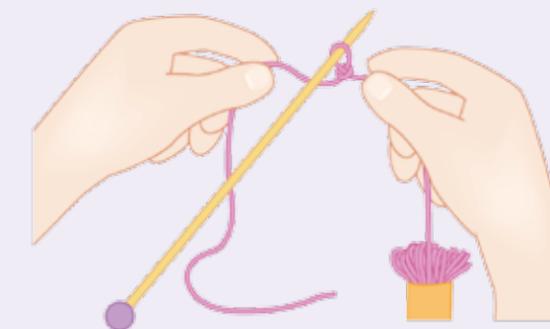
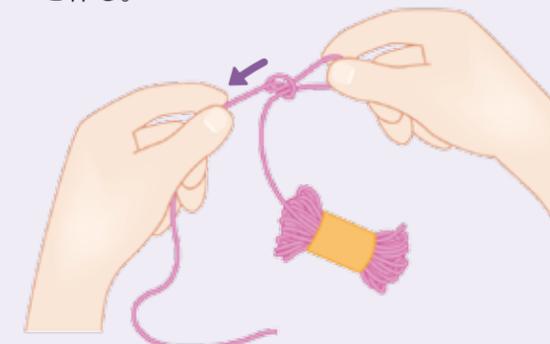
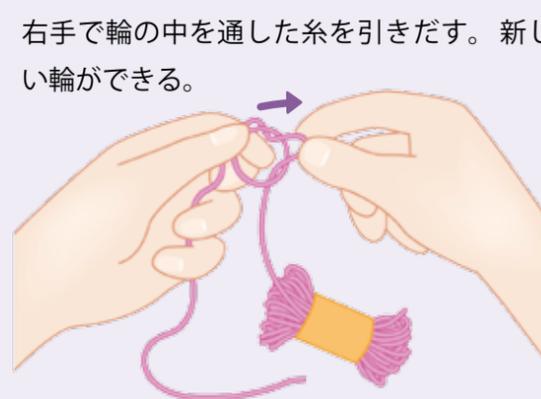
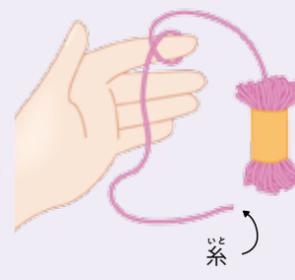
あみものは作り目➡p.6をしてからあみはじめます。

作り目のうち、いちばん最初に作るものをスリップノットといいます。

糸を引いて大きさを変えられる結び目で、ランニングノット、引きとけ結びともよびます。

スリップノット

- 1 糸端15cmくらいのところをもって、左手の人さし指のまわりにゆるい輪を作る。親指で糸が交わる場所を
- 2 糸玉があるほうの糸を輪のうしろから輪の中に通す。
- 3 右手で輪の中を通した糸を引きだす。新しい輪ができる。
- 4 糸端の糸と新しくできた輪を引いて、結び目を作る。
- 5 棒針を輪の中に入れ、糸玉の糸と、糸端の両方を引いて輪をちぢめる。これが最初の作り目（スリップノット）となる。



カラーバリエーション

オレンジ色



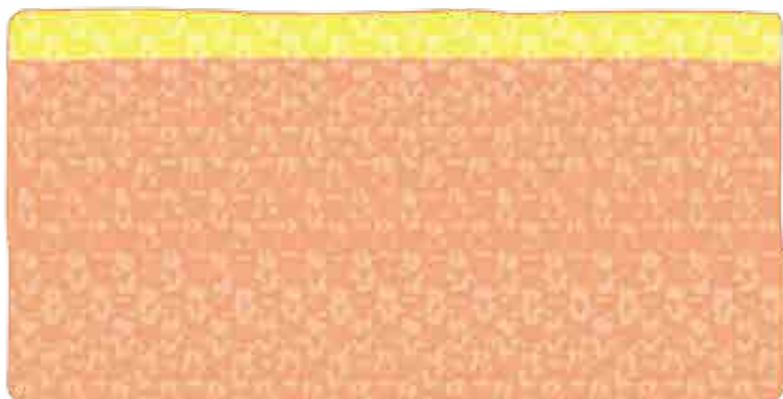
↑ オレンジ色の糸で2目かこのあみ

サーモンピンクの糸で2段とも表目

↑ オレンジ色の糸で
2目かこのあみ → p.16 18段

作り目

サーモンピンクと黄色



↑ 最後の段にあわせて、黄色で
2目かこのあみの1段めか3段めで
あむ

サーモンピンクで2目かこのあみ、
2段めか4段めであみおえる

作り目

しあ

1 カバーの横の端に、ボタンループ → p.24 を3つ作る。このとき、マグカップの取っ手の形を見ながら位置を決める。

2 もう一方の端に、ボタンループの位置にあわせてぬい針とぬい糸でボタンをつける。



Echarpe mauve à franges フリンジつきマフラー

かのこあみ➡p.16のぽこぽこしたもようがかわいい。フリンジをつけるとはなやかです。

材料・道具

- ・ 毛糸
6号の針にあうもの (50g) 3玉
- ・ 針
棒針6号、とじ針
- ・ かぎ針
3号か5号

あみか

- 1 作り目を33目作る。幅は約16cmになる(目の数は変えてもよいが、必ず奇数にする)。
- 2 すべての段を表目であみはじめ、かのこあみする。
- 3 長さが1mをこえたら、ふせ止め➡p.12し、糸始末➡p.22をする。
- 4 フリンジを作る。糸を28cmに切り、3本

自分の好きなサイズのマフラーをあむとき

➡まず横幅を決めます。標準的なサイズは15~20cmです。たっぷりしたストール風にするなら、もっと広く作ります。使う毛糸の太さや針の号数によってもできあがりのサイズは変わるので、糸

Echarpe bleu clair ぽこぽこボーダーマフラー

メリヤスあみアレンジ➡p.14であむマフラー。ぽこぽことした立体的なボーダーもよう

材料・道具

- ・ 毛糸
ジャンボ棒針にあうもの (100g) 2玉
- ・ 針
ジャンボ棒針 (直径約9mm)、とじ針

あみか

- 1 作り目を20目作る。幅は約20cmになる(あみ地の端が丸まる性質があるので、実際に使ってみるとそれほど幅広く感じない)。
- 2 メリヤスあみアレンジで、次のように4段を交互にあむ。
1~3段め ➡ すべて表目。
4段め ➡ すべて裏目。
- 3 ちょうどよい長さになったら、1~3段めと同じく表目であむ。
- 4 マフラーの裏側のあみ地でふせ止めし、

